

まつ もと じゅん
松本純 まちかど
中区・磯子区・金沢区 政治瓦版

LIBERAL&DEMOCRATIC 自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581) 6211(代表)
自由民主党ホームページ
<http://www.jimin.jp/>



国民皆保険制度に「予防医療」の導入を!

3世代同居促進で日本の家族を再構築

しま むら だい
島村 大 神奈川県参議院選挙区第3支部長に聞く



安倍総理の強力なリーダー^{シップ}で、「再生」へ向けて猛然と走り始めたニッポン。そんな中で歯科医師として二十三年間、地域医療に携わり、いま「社会保障制度再起動」を訴える自民党神奈川県参議院選挙区第三支部長、島村大さんに、明日の医療、明日のふるさと・神奈川などについて聞きました。

〈聞き手・松本純衆議院議員（神奈川一区選出）〉

健康寿命を延ばす」とが
「幸せ」を増進させる

松本 島村さんは歯科医師、私は薬剤師としてスタートしましたから、「健康」への強い思いは共通します。島村さんが主張される「社会保障制

度再起動」とはどういうことでしょうか。
島村 わが国の国民皆保険制度は世界に誇るべきものですが、今この制度で診療できる範囲を小さくして医療費を削減しようという考え方が出ています。これは間違いです。むしろ制度の範囲を広げて予防医療を導入し、人を病気にかかりにくくすることこそが結局は医療費削減につながり、制度を持続可能とするのではないでしょうか。

松本 健康の「質」をあげるということですね。
島村 最近「健康寿命」が注目されています。これは平均寿命から衰弱・病気・認知症などによる介護期間を差し引いたものです。現在、介護期間の平均は男性が9・13年、女性が12・68年です。この期間が短くなればそれだけ健康寿命が伸びることになり、私たちの幸せを増進させることになります。

松本 スペシャリストを育てる

松本 長年、地域医療に携わってこれで、ほかにもお感じになる

島村 大（しまむらだい） 昭和三十五年生まれ。五十二歳。日本大学第一高校、東京歯科大学卒。平成二年に横浜市保土ヶ谷区に横浜ビジネスパーク歯科クリニックを開業。その後、神奈川県歯科医師連盟理事長（平成十七年四月～二十四年七月）、日本歯科医師連盟理事長（平成二十三年四月～二十四年七月）などを歴任。平成二十四年八月、自民党神奈川県参議院選挙区第三支部長に就任。妻と長女の三人家庭。

島村 「入づくり」の大切さですね。特に新時代の職種に対応するためには、なんでも平均的にこなせるゼネラリストではなく、専門知識と技能を備えたスペシャリストがより強く求められていると思います。

松本 家族・地域社会については、どうお考えですか。

少子化に歯止めをかけ
独居老人の悲劇を防ぐ

済はさらに活性化していくはずです。

島村 日本の家族制度の原点は多世代同居でした。これが崩れたことで、安心して子供が産める環境が損なわれ、独り暮らしのお年寄りが増えました。私は多世代同居を積極的に進めるべきだと思います。それによって少子化・人口減少が緩和され独居老人の悲劇も防げます。

松本

その実現には政策的な支援も必要ですね。

島村 そのとおりです。多世代同居に対する住宅控除をはじめ、両親の扶養控除を上積みするなど、日本の家族制度を再構築するために国をあげて取り組まなければなりません。

松本 その実現には政策的な支援も必要ですね。

島村

済はさらに活性化していくはずです。



まつ もと じゅん
松本純

まちかど政治瓦版 中区・磯子区・金沢区

問合せ●〒231-0064 横浜市中区野毛町2-65 電話045-241-7800 FAX045-253-0585

平成25年5月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂

5月号

2013年 No.125

国道357号「根岸地区」が今年度中に開通!

地元の渋滞緩和、生活の安全が図られます

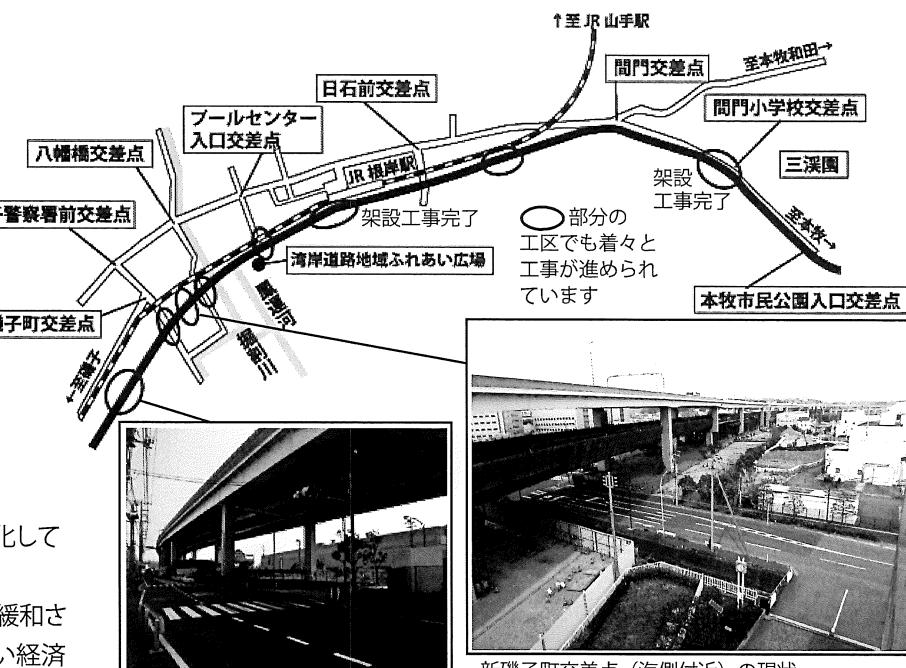
首都高速湾岸線の高架下を走る国道357号の未開通区間のうち「根岸地区」(中区千鳥町～磯子区新磯子町約3.0キロ)が今年度中に開通の見通しとなりました。早ければ平成26年の年明けの早い時期に地元の念願がかなえられそうです。

国道357号は東京湾を囲む神奈川、東京、千葉を結ぶ全長約160キロの幹線道路です。沿線の港や空港、生産・物流拠点を結んで経済の活性化と周辺地区の開発や交通渋滞緩和と排気ガスによる生活環境の改善を図るのが目的です。横浜市部分では、磯子区新磯子町～金沢区八景島約9.2キロと横浜ベイブリッジの一般道部分約2.2キロが開通しています。

これに続く根岸地区の開通は、地元の経済活性化に寄与します。357号横浜ベイブリッジ区間や環状2号線の開通によって、国道16号八幡橋交差点～本牧間門の朝夕の交通渋滞は慢性化しています。これによる経済的な損失は膨大なもので。

根岸地区の開通によって16号はじめ周辺道路の渋滞が大幅に緩和されれば、移動時間の短縮や物流コストの縮減などで、計り知れない経済効果がもたらされるのです。

根岸地区の開通はまた、沿線地域の環境や健康・安全を大きく向上させます。16号の渋滞で引き起こされていた周辺地区の皆さまの排気ガスによる劣悪な生活環境が緩和されます。さらに渋滞を避けようとする車が生活道路や通学路にまで入り込んできたことによって脅かされていた地域の安全が改善されます。平成21年に中区、磯子区、金沢区の市会、県会議員をはじめ、沿線住民の皆さまが未開通区間の早期開通を求めて署名活動を行ったのもこのためでした。



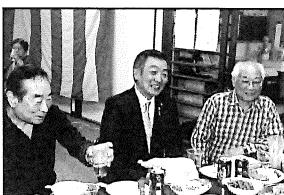
新磯子町交差点から磯子ポンプ場にかけて、高架下部の取付道路工事着手の準備に入りました

根岸地区に続いて「本牧地区」(中区本牧ふ頭～中区錦町約2.3キロ)の早期開通が望まれます。「デフレからの脱出」を求めてダイナミックな政策を展開している第2次安倍内閣は、成長戦略の一環として特定事業への重点的な予算配分を行っていますが、そのひとつに「基幹的交通インフラ等の整備推進」があります。松本純は市会・県会議員、住民の皆さんと国を結んで357号未開通部分の早期開通を強く働きかけていきます。

松本議員の活動記録



3/30 石破茂幹事長街頭演説会
石破茂幹事長をお迎えした街頭演説会。ねじれ国会解消には今夏の参議院選挙の勝利が重要と訴えました。



3/31 丸山第一町内会花見
美味しい料理と婦人部の皆さんとの踊りや安来節の踊りなどさまざまな余興で会場は大盛り上がりでした。



3/31 金沢土木建築組合バーベキュー
温かい会員さんや焼肉をご馳走になりながら、組合員の皆さんのご要望などを伺いました。

4/1 柏葉したしみ会
本田節子すみれ会(女性後援会)会長主催の柏葉したしみ会で、再生医療、医療機器の推進等を報告しました。

2013年
5月

《3月》

24日●中原正一位稻荷大明神初午祭

●日本柔道整復師社団法人設立60周年記念祝賀会

26日●第24回日本医療懇談会

27日●(社)実践倫理宏正会東京地区春季実践倫理講演会

30日●自民党神奈川県連平成25年役員総会

《4月》

1日●平成25年度横浜弁護士会新理事者就任披露懇親会

3日●医療委員会・薬事に関する小委員会合同会議

5日●障害者特別委員会・内閣部会・厚生労働部会合同会議

10日●自民党薬剤師問題議員懇談会・総会

11日●連合審査会(内閣・総務・財務・金融・厚労委員会)

12日●税制調査会社会保障制度に関する特委・医療と税制に関するプロジェクトチーム

14日●第44回中村太郎杯争奪剣道大会

15日●障害者特別委員会

18日●園遊会

●与党障害者の差別禁止に関する立法措置ワーキングチーム

19日●厚生労働委員会(健康保険法等の一部を改正する法律案可決)

「自民党の新たな挑戦」

松本純政経セミナー 2013 のご案内



松本純政経セミナーは2005年にスター
トし、今回で8回目を迎えます。

毎回、講師をお迎えしていますが、出講の
回数が最も多いのが麻生太郎外務大臣・前
自民党幹事長・元総理の5回。そして石破茂
前防衛庁長官、岩屋毅自民党国防部会長、

河野太郎自民党幹事長代理、石原伸晃自民党幹事長、大島理森自民党副総裁に各1回お務めいただいている。(講師の肩書きはいずれも出講時)

「三本の矢」といわれる次元の違う金融政策・財政政策・成長戦略を掲げ、デフ
レ脱却に向けて力強く前進している第2次安倍内閣。今回はその〈アベノミクス〉
を支える大黒柱、麻生太郎副総理・財務大臣を講師にお迎えして、その表舞台・
裏舞台の全貌をうかがいます。

●日 時 平成25年6月17日(月)午後6時～

講演「自民党の新たな挑戦」 講師 麻生太郎副総理・財務大臣
司会 渡辺真理(フリーアナウンサー)

●場 所 横浜ベイホテル東急(旧パンパシフィック横浜ベイホテル東急)
地下2階クイーンズグランドボールルーム

横浜市西区みなとみらい2-3-7 電話 045-682-2222

●会 費 10,000円(講演会+懇親会)

●主 催 松本純後援会

●協 力 自民党神奈川1区支部

※この催しは政治資金規正法第8条の2に規定する政治資金パーティーです